

財務書類の概要

(1) 財務書類の作成方法

作成基準 総務省統一基準

対象年度 令和6年度（基準日：令和7年3月31日）

出納整理期間（令和7年4月1日から令和7年5月31日まで）を含む

(2) 貸借対照表（B S）

貸借対照表は会計年度末時点で、住民サービスを提供するために所有する資産（土地・建物・車両など）がどれだけあり、その資産を形成するために今までどのような財源（負債、純資産）で賅ってきたのかを表す財務書類です。

衛生施設及び車両・資器材等 固定資産 土地 1億9274万円 建物 39億3301万円 工作物 4174万円 建設仮勘定 0万円 物品 3億9139万円	衛生施設等整備に係る債務 地方債等 13億2613万円 職員に係る福利厚生等の債務 賞与等引当金 7924万円 預り金 206万円
退職積立資産、その他基金 投資その他の資産 その他基金 214万円 退職積立資産 1億3115万円	負債合計 14億742万円
債務返済の財源等 流動資産 現金預金 8271万円	純資産残高 これまでの世代の資産残額を表します。 マイナス残高の場合は将来負担を表します。
資産合計 47億7489万円	純資産合計 33億6747万円

※下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

施設設備と減価償却について

衛生・消防施設や車両等は年数を経ることにより老朽化し、資産の価値としても減額されます。財務書類では、この経年劣化を減価償却費として表します。

衛生・消防施設や車両等のそれぞれに法令で定められた耐用年数（使用に耐える年数）があり、取得価額を耐用年数で等分し減価償却することから、減価償却累計額の比率が多くなると施設設備が老朽化していることを表します。

令和6年度では、消防ポンプ自動車、高規格救急自動車等の更新が行われ、車輛資器材等の減価償却比率が減少しています。

資産の科目名・金額	令和5年度 償却比率	令和5年度 償却比率
二戸地区クリーンセンター建物		
建物（取得価額） 67億7792万円	62.4%	59.4%
建物減価償却累計額 42億2964万円		
二戸地区衛生センター建物		
建物（取得価額） 20億2643万円	94.0%	93.5%
建物減価償却累計額 19億574万円		
消防署等建物		
建物（取得価額） 18億7294万円	32.5%	29.4%
建物減価償却累計額 6億890万円		
車輛・資器材等		
物品（取得価額） 21億6485万円	81.9%	87.9%
物品減価償却累計額 17億7346万円		

(3) 行政コスト計算書 (P L)

行政コスト計算書は、当該年度に行った行政活動にどのような費用がかかったのかを表す財務書類です。

<p style="text-align: center;">日常的にかかるコスト</p> <p>経常費用</p> <p>人件費 10億5444万円 ・給与や賞与引当、共済掛金等</p> <p>物件費等 13億2502万円 ・消耗品や維持補修費、委託費用等 (うち減価償却費3億4272万円)</p> <p>その他の業務費用 1億2227万円 ・支払利息や火災保険料等</p> <p>移転費用 3億6329万円 ・補助金、退職手当負担金、税金等</p>	<p style="text-align: center;">日常的に受ける収益</p> <p>経常収益</p> <p>使用料及び手数料 1億5794万円 ・衛生・消防手数料、施設使用料</p> <p>その他経常収益 4722万円 ・リサイクル品売却ほか</p> <hr/> <p style="text-align: center;">臨時に受ける収益</p> <p>臨時利益</p> <p>資産売却益 0万円 ・固定資産の売払い益</p> <hr/> <p>収益計 2億516万円</p>
<p style="text-align: center;">臨時にかかるコスト</p> <p>臨時損失</p> <p>資産除売却損 0万円 ・廃棄資産の除却損等</p>	<p style="text-align: center;">純行政コスト</p> <p>行政活動にかかるコストの純額です。 このコストは構成市町村からの負担金や国県からの負担金・補助金で賄われています。</p>
<p>費用計 28億6503万円</p>	<p>純行政コスト 26億5987万円</p>

※下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

(4) 純資産変動計算書 (NW)

純資産変動計算書は、純資産が1年間でどのように変動したのかを表す財務書類です。
また、単年度の損益差額は本年度純資産変動額 (B) に現れます。

前年度末純資産残高 (A)	36億3357万円
純行政コストの財源計算	
純行政コスト	-26億5987万円
税収等 (構成市町等の負担金)	23億1670万円
国県等補助金	7706万円
本年度差額	-2億6611万円
純資産の評価増減、寄付等	
純資産評価差額	なし
無償所管換等 (寄贈による資産の増加)	なし
本年度純資産変動額 (B)	-2億6611万円
本年度末純資産残高 (A) + (B)	33億6747万円

※下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。

(5) 資金収支計算書 (CF)

資金収支計算書は、1年間の現金預金の収入と支出を表す財務書類です。

業務活動収支	
行政活動に伴う費用支出と収入	
業務支出	24億6705万円
業務収入	25億9892万円
臨時支出	なし
臨時収入	なし
業務活動収支 (A)	1億3187万円
投資活動収支	
固定資産の取得支出や固定資産の売却、基金の取崩収入など	
投資活動支出	2億1570万円
投資活動収入	0万円
投資活動収支 (B)	-2億1570万円
財務活動収支	
地方債等による資金調達及び償還	
財務活動支出 (償還)	1億4685万円
財務活動収入 (資金調達)	1億9910万円
財務活動収支 (C)	5225万円
本年度資金収支額(A)+(B)+(C)	-3158万円
前年度末資金残高	1億1223万円
本年度末資金残高	8066万円

貸借対照表の現金預金は、歳計外現金206万円を含めた8271万円が残高となります。

※下位項目との金額差は、単位未満の四捨五入によるものです。